

# 犯罪組織との対決

暴力団や国際犯罪組織といった各種犯罪組織は、凶悪事件、特殊詐欺、違法薬物の密売等の様々な犯罪を敢行しており、都民の平穏な生活に著しい脅威を与えています。

警視庁では、犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた総合的な対策を行い、都民の安全・安心の確保に努めています。

## 暴力団対策

都内では、暴力団が違法な資金獲得活動を活発に行っているほか、全国では山口組の分裂に伴う対立抗争が発生するなど、予断を許さない状況が続いています。

警視庁では、警戒の強化と重点的な取締りを推進するとともに、関係機関・団体と連携した暴力団排除活動に取り組んでいます。

暴力団に関する困り事相談窓口について、詳しくはこちらをご覧ください。



暴力団排除活動

## 国際組織犯罪対策

訪日・在留外国人数が過去最高を記録する中、外国人が関係する犯罪や国境を跨ぐ犯罪も増加しています。

警視庁では、外国人関連の重要犯罪、犯罪インフラ事犯等の取締りや国際捜査共助等を推進するほか、犯罪者の国外逃亡を防ぐ水際対策等にも力を入れています。

また、関係機関と協力して在留外国人の安全確保に向けた指導啓発活動に取り組んでいます。



外国人の安全確保に向けた啓発活動

## 薬物銃器対策

覚醒剤等違法薬物の密輸・密売組織の摘発や拳銃の取締り等により、被疑者を検挙し、多くの薬物・拳銃等を押収しています。

若年層の大麻乱用が危惧されるところ、法改正により、令和6年12月から大麻等の不正な施用が違法行為となりました。検挙対策の強化に加え、薬物の有害性・危険性についての広報啓発活動に取り組んでいます。

薬物乱用の恐ろしさについて、詳しくはこちらをご覧ください。



大麻所持事件の検挙

## 犯罪収益対策

詐欺や違法薬物等で得た犯罪収益は、犯罪組織を肥大化させ、次の犯罪への準備資金となっているため、マネー・ローンダリング事犯の取締りを強化し、犯罪収益の剥奪に努めています。

また、犯罪組織の資金源となっているクレジットカード犯罪の取締りと被害防止に向けた広報啓発活動を推進しています。



クレジットカード犯罪についての講話

# サイバーセキュリティ対策本部

## サイバーセキュリティ広報大使委嘱式



サイバーセキュリティイベント

## 安全で安心なサイバー空間の実現



スマホ防犯教室



サイバーセキュリティアドバイザーによる講話



広報啓発ポスター

サイバー空間では、フィッシングやランサムウェア等による被害が多発しており、パスワード管理をはじめとするセキュリティ対策を講じることが大切です。

警視庁では、サイバー空間の安全・安心を確保するため、SNSによる情報発信やスマホ防犯教室、広報啓発イベント、セミナーの開催等、サイバー犯罪被害を未然に防止する活動を推進しています。

フィッシング詐欺について、詳しくはこちらをご覧ください。



サイバーセキュリティインフォメーションについて、詳しくはこちらをご覧ください。

